

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
1. 初期支援（はじめのかかり）					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組みましたか？	5	4	2	0	11
前回の改善計画					
利用者の情報(本人や家族、介護者の状況)を理解したうえでどういった支援が必要かを検討する。サービス開始にあたって、互いの信頼関係が早期に築けるよう、安心できる接遇に					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
初期面談以外にも、チャットワーク等のツールを使用し、本人、家族の意向を共有できた。接遇に関しては、丁寧な言葉遣い、積極的な声掛けを行い、早期になじみの関係を築く					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	6	0	0	11
②サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	5	5	1	0	11
③本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	6	3	2	0	11
④本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	3	4	0	11
できている点					
利用者様やご家族に対して、笑顔で挨拶をし、安心感を与えるように心がけています。 新しく入られた入居者の方が他の入居者の方と仲良くなじめるように職員が間に入り席も考えながら配慮している。今までのご自宅での生活の食の好みや起床の時間も考慮したいと考えている。 利用開始前に利用者様の情報をツールで共有できている。利用開始されたばかりの利用者様は慣れない所に来たので不安を口にする事があります。お話を聞き職員を信用してもらえよう関係性を築けている。 そのご利用者様の目を見て話しかけたり、お話を伺ったりするようにしている。また施設内では、近くにいるようにし、気の合いそうな方々と他者交流できるようお席の配慮を心掛けている。					
できていない点					
状況を客観的に捉えて判断することがまだ難しいと感じる。他の利用者様との事も考えながらだとなかなか個人の思うようにはしてあげられない。帰宅願望等、情緒不安定になら					
次回までの具体的な改善計画					
経験が浅く、利用者様の反応やニーズを正確に読み取ることに自信がありません。今後、先輩の支援を受けながら学びたいです。コミュニケーション不足が原因だと思う。					

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
2. 「～したい」の実現					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⑩前回の課題について取り組みましたか？	5	5	1	0	11
前回の改善計画					
○利用者の掲げる目標に向かって、チームケア(本人・家族・介護者・地域・事業所)として支援に取り組む。○目標を具体的に引き出す。					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
利用者様の意向を聴取し、その意向をチーム内で共有し、本人の意向を優先したケアを行った。					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	5	5	1	0	11
②本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	5	5	1	0	11
③本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかりができていますか？	6	4	1	0	11
④実践した(かかった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	5	3	0	11
できている点					
ミーティングでは、他スタッフと協力して支援方法を話し合っています。利用者の有する能力を活かし、その人らしく生活が継続していけるよう自立支援に向けた支援を行う。					
できていない点					
忙しい時間帯では、利用者様の希望に十分に答えられないことがあります。実践した内容をつぎの対応へ活かしてない事がある。					
次回までの具体的な改善計画					
時間や人手が限られており、個別の「したいこと」への対応が難しい場面があります。今後は優先順位を考えて、少しずつ改善していきたいです。					

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
3. 日常生活の支援					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組みましたか？	4	7	0	0	11
前回の改善計画					
○利用者の有する能力を活かし、その人らしく生活が継続していけるよう自立支援に向けた支援を行う。					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
利用者様の状態の記録を細かく記入するよう徹底。医療での連携時に詳しい情報を共有することができるよう周知した。					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	5	4	2	0	11
②本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護が出来ていますか？	6	5	0	0	11
③ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	5	2	0	11
④本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	6	0	0	11
⑤共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援出来ていますか？	5	6	0	0	11
できている点					
日々の変化に気づき、他のスタッフと情報共有するように心がけています。 施設に入らず長くご自宅で過ごしたいなど利用者の希望に添って適切な支援ができている。 生活の支援、買い物支援、送迎支援、安否確認支援は充実している					
できていない点					
詳しい生活歴を把握できていない。					
次回までの具体的な改善計画					
積極的に興味を持ち、情報のみだけではなく会話の中から聞き取る。					

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
4. 地域での暮らしの支援					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組みましたか？	5	5	0	1	11
前回の改善計画					
利用者を取り巻く地域や友人との関りを把握し、事業所として関係を築く。					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
運営推進会議等では出来る限り、地域住民の方の参加を促し、地域の方々の意見を聴取した。 本人、家族と密に連絡を取り、在宅での生活状況を把握した。 外出の機会を定期的に作り、地域へのかかわり、交流の場を設けるようにした。					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	5	3	2	1	11
②本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	5	5	0	1	11
③事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	4	5	1	1	11
④本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3	3	3	2	11
できている点					
利用者様との日常会話から、人間関係やこれまでの生活スタイルについて把握することができています。通いで来られてる方の家庭での生活も把握できている。ご自宅で暮らす利					
できていない点					
地域の行事や資源についての知識が不足しており、参加のサポートができていません。御本人からのお話からご近所との付き合い方とかをお伺いできますが、お話ができない方は					
次回までの具体的な改善計画					
地域の情報収集や他機関との連携が不十分で、利用者様の社会参加に繋げる機会を作れていません お身内の方と話機会があまりないから 介護だけでなく、事務、調理などいろいろな仕事をするところがあるため一人一人への理解が深めていくことができていないと思います。色々な仕事をしていることを糧にコミュニケーションの場を増やし理解を深めたいです。					

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
5. 多機能性ある柔軟な支援					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組みましたか？	5	5	1	0	11
前回の改善計画					
○日々の関りを大切に、本人や周囲の心身の変化に気付けるよう接する。○必要な時に必要な事を必要な量の支援を妥当適切に行う。					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
サービス提供時は利用者の状態に気を配るようにし、何か変化があれば共有するよう努めた。変化に対して訪問サービス、通いサービスを柔軟に提供できた。					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	5	4	2	0	11
②ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8	2	1	0	11
③日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	4	2	0	11
④その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	3	1	0	11
できている点					
利用者の状態に変化が見られた際は、すぐにチーム内で情報共有を行い、対応を協議しています。利用者や家族の要望に適宜、柔軟な支援ができています。個々の、状況に合わせた					
できていない点					
特別なニーズへの対応について、個性を十分に反映できていない場合があります。地域での交流の場が少ない。地域資源の活用					
次回までの具体的な改善計画					
時間的余裕がない場合や、多忙な時は細やかな対応が後回しになってしまうことがありました。今後は優先順位を整理しながら柔軟に対応していきたいと思います。					

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
6. 連携・協働					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組みましたか？	6	2	2	1	11
前回の改善計画					
地域とよりよい関係が築けるよう、日ごろから積極的にかかわる。					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
認知症初期集中支援チーム検討会への参加、担当者会議を通して、他事業所との関りの場を持っている。 フリーマーケット等の行事に利用者と共に参加している。					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①その他のサービス期間(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	5	2	1	3	11
②自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	0	1	6	11
③地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	4	2	1	4	11
④登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	2	0	5	11
できている点					
担当者会議、運営推進会議等適切に実施。合わせて定期的に地域の行事に参加も出来ている。近所の方が今後のためにと見学に来てくれるようになりました。近隣との関わりを極					
できていない点					
医療機関や行政機関との連携会議への参加は管理者、ケアマネージャーのみの参加となっているため、職員が参加する機会がなかった。					
次回までの具体的な改善計画					
事前に計画し、シフト調整を行うことで、業務に支障なく活動に参加することが出来る。					

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
7. 運営					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組みましたか？	6	2	1	2	11
前回の改善計画					
〇よりよい事業所をつくるため、利用者を支えるために必要な運営のプロセスを個々で考える。					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
利用者、家族、介護者からのご意見があれば適宜、事業所の運営に反映しています。 職員からの意見は管理者が聴取し、事業所の運営に反映している。					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①事業所のあり方について、職員として意見を言うことが出来ていますか？	7	2	1	1	11
②利用者、家族、介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	7	2	1	1	11
③地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	6	2	2	1	11
④地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	6	2	2	1	11
できている点					
利用者やご家族の意見を丁寧に聞き取り、サービス内容に反映させることができています。また、スタッフの声も積極的に運営に取り入れています。自分で気がつく点があれば施					
できている点					
職員としての視点で意見を述べることに対して、まだ自信がなく、発言を控えてしまう場面があります。					
次回までの具体的な改善計画					
発言することで周囲にどう思われるかを気にしてしまい、積極的な発言が難しいと感じています。今後は、安心して意見を言える環境づくりにも協力し、自分からも一歩踏み出したいと考えています。					

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
8. 質を向上するための取り組み					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組みましたか？	4	5	1	1	11
前回の改善計画					
○職員一人一人が質の向上を念頭に置き資格取得や研修参加を積極的に取り組む。○情報や気持ちの共有を全体で行う。					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
研修計画に基づき、定期研修を行った。個別面談し、スキルアップのための資格や研修について周知行った。 職場外の研修にも参加するようにしている。					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか？	7	3	0	1	11
②資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	5	3	1	2	11
③地域連絡会に参加していますか？	5	1	0	5	11
④リスクマネジメントに取り組んでいますか？	6	2	2	1	11
できている点					
内部研修やケース検討会に積極的に参加し、自分の知識やスキルを向上させるよう努力しています。また、気づいたことはチーム内で共有するよう心がけています。職員一人一人					
できていない点					
外部研修への参加頻度がまだ少ない職員同士でわからない事があれば先輩に聞くようにはしている。					
次回までの具体的な改善計画					
個々に声掛け行い、スキルアップ資格取得勧める。					

事業所自己評価・ミーティング様式					
実施日	R7.6.30				
参加メンバー	11人				
9. 人権・プライバシー					
◆前回の改善計画に対する取り組み状況					
個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組みましたか？	7	4	0	0	11
前回の改善計画					
拘束や虐待を理解し、自身の支援の在り方を振り返る。					
前回の改善計画に対する取り組み結果					
虐待、身体拘束廃止に関する委員会、研修を定期的に開催し、事業所の現状について従業員間で共有した。 個人情報保護、プライバシー保護に関する研修を定期的に実施している。					
◆今回の自己評価の状況					
個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①身体拘束をしていない	9	2	0	0	11
②虐待は行われていない	9	2	0	0	11
③プライバシーが守られている	9	2	0	0	11
④必要な方に成年後見制度を活用している	6	4	0	1	11
⑤適正な個人情報の管理ができている	8	3	0	0	11
できている点					
利用者のプライバシーを尊重し、トイレや着替えなどの際にはしっかりと配慮して対応しています。個人情報の管理についても、研修を通じて正しく理解し、実践できています。					
できていない点					
時々、忙しいときにプライバシーに十分に配慮した対応ができていないことがある。排泄での事を職員同士で話す時にプライバシーを考慮しながら話さないといけない。					
次回までの具体的な改善計画					
業務に追われる中で、利用者への対応が機械的になってしまい、個々のプライバシーや配慮が不足してしまう場面もまだ見られるため、職員間声掛けし、常時意識して業務に当た					

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表										
法人名	株式会社エージングアシスト	代表者	大石 綾	法人・事業所の特徴	経営理念「一歩踏み込む優しさが、私たちのおもてなし わたしたちを取り巻く全ての人がその人らしくあるために」併設施設にシルバーホームなごみがある(住宅型有料老人ホーム)。有料老人ホーム利用者のみではなく、自宅で生活している利用者にも小規模多機能型居宅介護を提供している。認知症があってもなじみの職員と共に、家庭的な雰囲気の中生活していただける事を目標としてサービス提供している。					
事業所名	なごみの家	管理者	筆本 佳那子							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	人	人	1 人	人	人	人	人	2 人
項目	前回の改善計画		前回の改善計画に対する取り組み・結果			意見		今回の改善計画		
A.事業所自己評価の確認	ミーティングは比較的午後の時間に余裕のある第4木曜日に開催する。 サービス評価かどのようなものであるか十分理解できていない従業員さんもいるので、資料を配布し周知を図る。		業務を行いながらミーティングの時間調整、職員の自己評価記入等の事前準備ができた。サービス評価については市町村職員、利用者様家族に参加していただいた。			委員会、研修の開催やレクリエーションの計画を行いながら、ミーティング等職員を集めて話をするのは非常に大変だと思います。		Googleやチャットワーク等のツールを活用することで、継続して自己評価行う。 シフトでミーティング開催日を調整し、職員の参加を促していく。		
B.事業所のしつらえ・環境	"運営推進会議、イベントを通じて、地域の方々との交流を深め、訪問しやすい環境を整備する。 清掃、汚物の処理を適宜適切に実施し、不快な匂い等を発生させない。 基本的に玄関等のカギは開錠し、自由に入出りできるようにする。"		事業所は閉鎖的ではなく、常に解放されている。運営推進会議に地域の方を招待し、意見をお聞きしている。 清掃、汚物処理は決まった手順で実施されており、不快なにおい等の発生はなかった。 玄関は施錠せず開放されている。			地域交流も積極的にできている。 事業所は清潔で不快なおい等はありません。開放的で明るいホール。落ち着いて過ごすことができる印象。		家族が施設に来やすい環境は出来ているが、地域の方は入りにくいかもしれない。 婦人会や民生委員も精力的に活動している地域なので、施設の概要を地域の方に知ってもらうことが必要。		
C.事業所と地域のかかわり	挨拶をはじめ、明るい雰囲気で利用者、訪問した方々に対応する。 運営推進会議、イベントへの参加を通じて、地域の方々に事業所を知っていただく		フリーマーケットの参加、地域の敬老会に施設で作成した飾りの寄付で施設のことは知ってもらうことは出来ている。 施設を身近に感じてもらえるような取り組みが必要。			気軽に相談できる場所であることを周知してもらうことが必要。 フリーマーケットの参加や、敬老会への記念品贈呈と地域交流出来ている。		気軽に相談できる場所であることを周知してもらうことが必要。 地域のイベントへの参加は日常業務に支障をきたさない程度で継続していく。		
D.地域に出向いて本人の暮らしを支える仕組み	利用者がお住いの地域の方を運営推進会議に招待する。 地域に開かれた事業所を目指し、近隣の介護相談、行事、イベントへの参加を積極的に行っていく。		屋外への外出行事計画し出来ている。地域行事、イベントの開催も行っている。 近くにお住いの方を運営推進会議への参加はあまりできていない。			隣近所の方との交流は出来ているが、会議への参加は敷居が高い。 外出は大変と思うが継続してほしい。		引き続き近所にお住いの方を運営推進会議に参加してもらえるよう、関係性作り行う。		
E.運営推進会議を活かした取り組み	民生委員、包括支援センター等の職員を運営推進会議に招待し、地域で心配されている方等の事例検討を行う。		民生委員が参加してくれた際には事例検討出来ている。			民生委員から手軽に相談できる関係作り。 地域で事業所として参加できることを模索しながらできていると思う。		民生委員から手軽に相談できる関係作り。 地域で事業所として参加できることを模索しながらできていると思う。		
F.事業所の防災・災害対策	避難訓練の際は、できる限り地域の方等を招待し実施するようにする。 備蓄品は定期的に量、期限を確認する。		備蓄品の量や期限の確認、管理出来ている。 避難訓練に地域の方を招待は出来ていない。民生委員が作成したハザードマップを使用し、利用者様へ配布し防災意識を高めている。			備蓄は定期的に確認し管理できている。 避難訓練を実施しているが、地域の方に来てもらうのは難しい。 職員へ机上で、災害時の行動をイメージしてもらうための研修実施した。		備蓄の管理、避難訓練継続。 実際に避難場所へ徒歩、車いす等で避難訓練行う。		